

発信日：令和7年（2025年）12月10日（水）

発信元：つくば市 政策イノベーション部 科学技術戦略課

☐取材依頼 ☒周知依頼 ☐募集告知 ☐その他

「こどもMaaS」接触事案の調査結果と再発防止策に基づく試験走行の実施について

つくば市は、令和7年11月12日（水）14:30ごろ、つくば駅周辺で実証実験を行っていた低速自動運転モビリティ「こどもMaaS」が、つくばカピオのスロープ手すりに接触した事案（別添：令和7年11月13日付けプレスリリース）を受けて、原因究明等の調査を実施してきました。

調査の結果、事案当日に発生した強い太陽フレアに起因する衛星測位精度の低下、ならびに車両側面の範囲を検知する接近センサーの不備が要因と考えられることが判明しました。これを踏まえ、再発防止に向けた対策の検討を行いました。

このたび、検討した対策の技術的な安全性及び妥当性の確認を目的に、乗客を乗せず、公道（ペDESTリアンデッキ）で試験走行を実施します。

【日時】 令和7年12月13日（土）～12月16日（火）（予定）

※天候等の状況により、走行しない日があります。

【場所】 ペDESTリアンデッキ（つくばセンター～つくばカピオ前）

【対策】

- 車両側面の接近センサーを追加・最適化して搭載
- 運行ルートにおける安全マージン設定の見直し
- 衛星測位精度が低下した際の車両の挙動（低速運転／停止）の見直し

【検証項目】

- 車両側面の範囲を検知する接近センサーの搭載台数・配置の最適化
- 障害物接近時における車両挙動（減速・停止等）の確認など

【今後の対応】 本原因究明結果を真摯に受け止め、再発防止に努めるとともに、今回の調査で得られた知見及び経験を今後の「こどもMaaS」事業運営に反映し、安全な運行の確立に取り組んでいきます。



つくば市記者会 御中

発信日：令和7年（2025年）11月13日（木）

発信元：つくば市 政策イノベーション部 科学技術戦略課

☐取材依頼 ☐周知依頼 ☐募集告知 ☒その他

「こどもMaaS」の走行中に発生した接触について

11月5日よりつくば駅周辺で実証実験中の低速自動運転モビリティ「こどもMaaS」が、試乗者2名を乗せて時速3キロメートルでつくばカピオのスロープを走行していた際、同施設のスロープ手すりに接触する事案が発生しました。

なお、この事案によるけが人はいません。

【日時】

令和7年11月12日（水）14:30ごろ

【発生場所】

つくばカピオ（竹園1丁目10-1）

ペDESTリアンデッキ側スロープ手すり

【接触の状況】

相手側（つくばカピオ）：スロープ手すり下部にすり傷あり

「こどもMaaS」車両：車両右側下部にすり傷あり

【接触の原因】

11月12日（水）正午ごろより走行に使用している衛星信号の捕捉が何らかの原因により不安定になり、補正信号の切替えを行うなど対策を講じたところ、車両に異常な挙動は認められなかったため、運行を継続した。事案発生場所で車両が方向を転換する際、軌道がやや内側に寄っていたが、運転者は接触しないと判断したためブレーキを踏む対応ができず、内輪差により接触した。

【対応状況】

つくば市は、受託者の東海クラリオン株式会社に対し、適切な対策が講じられるまで運行を取りやめるよう指示し、安全・安心な運行を徹底するよう、強く申し入れました。なお、実証実験を再開する際は、市ホームページなどでお知らせします。